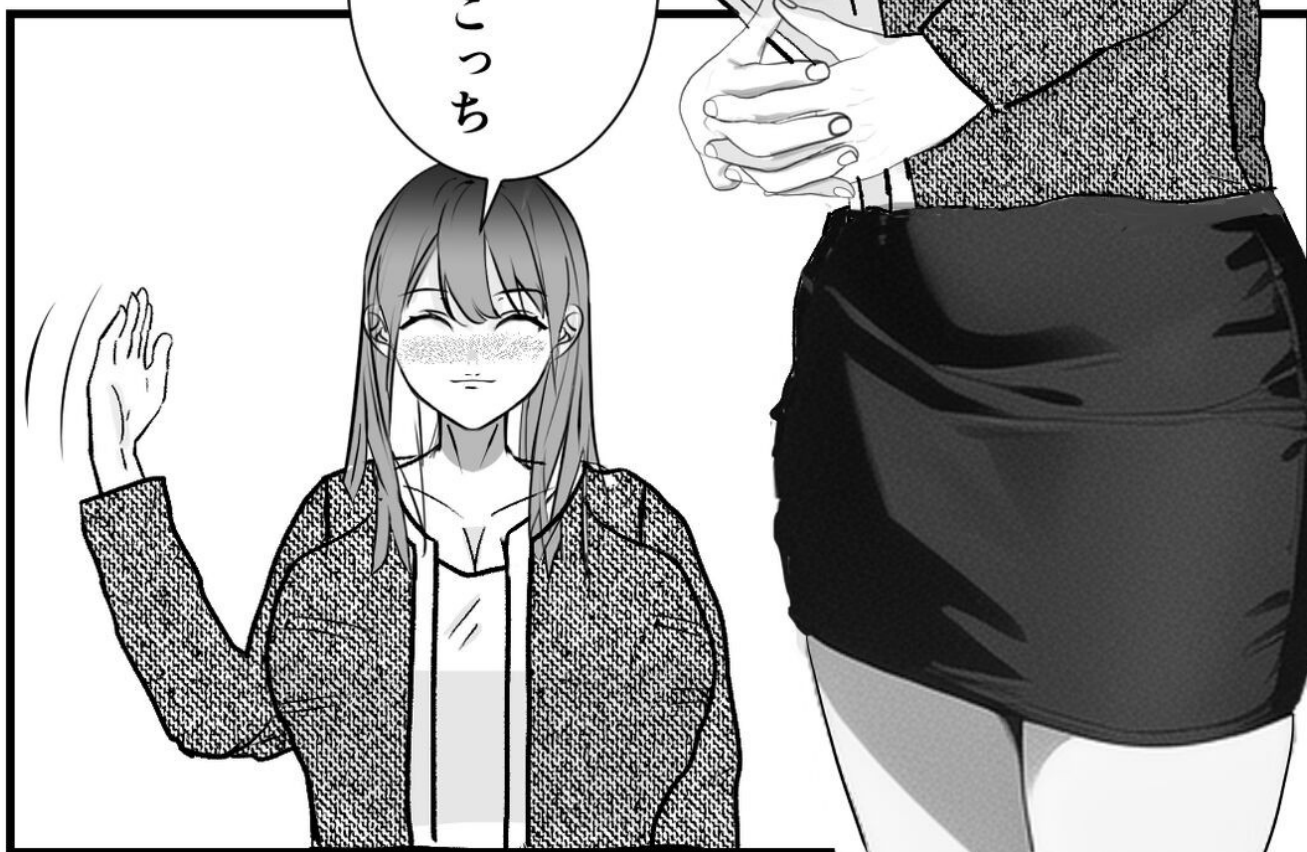


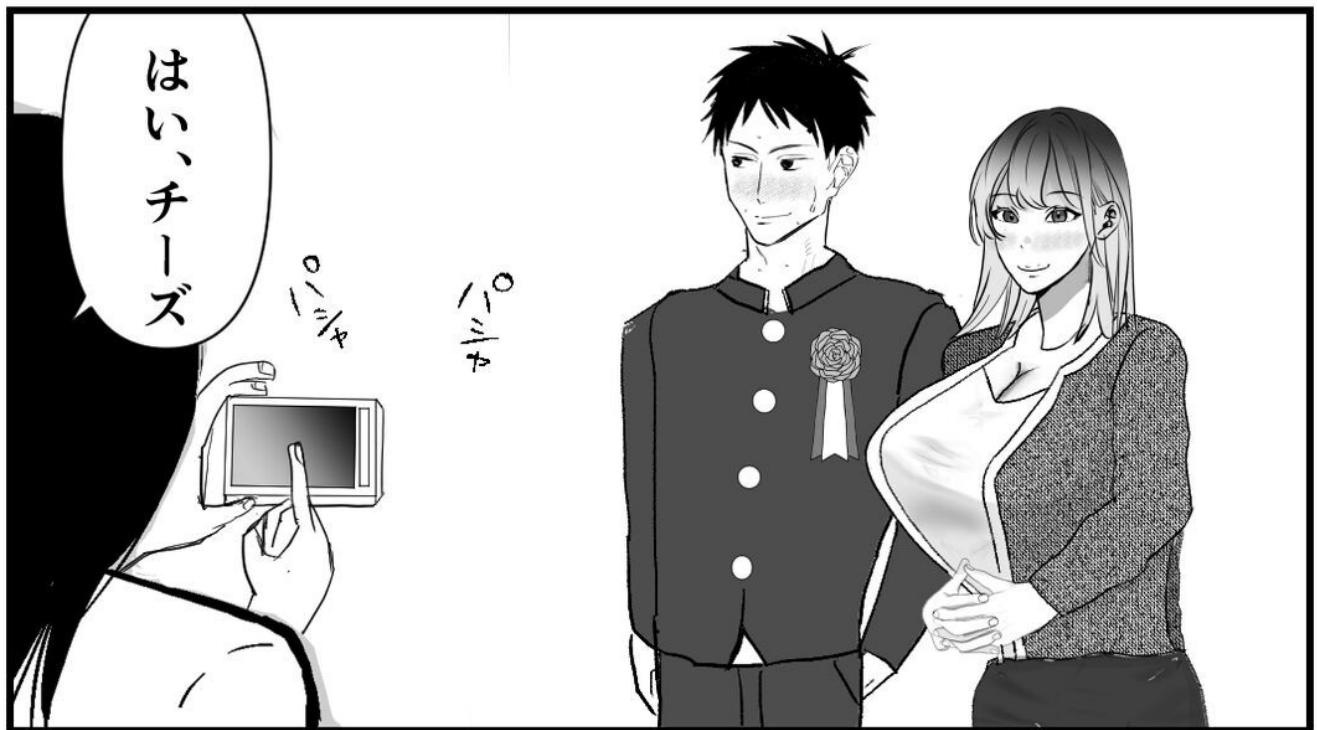
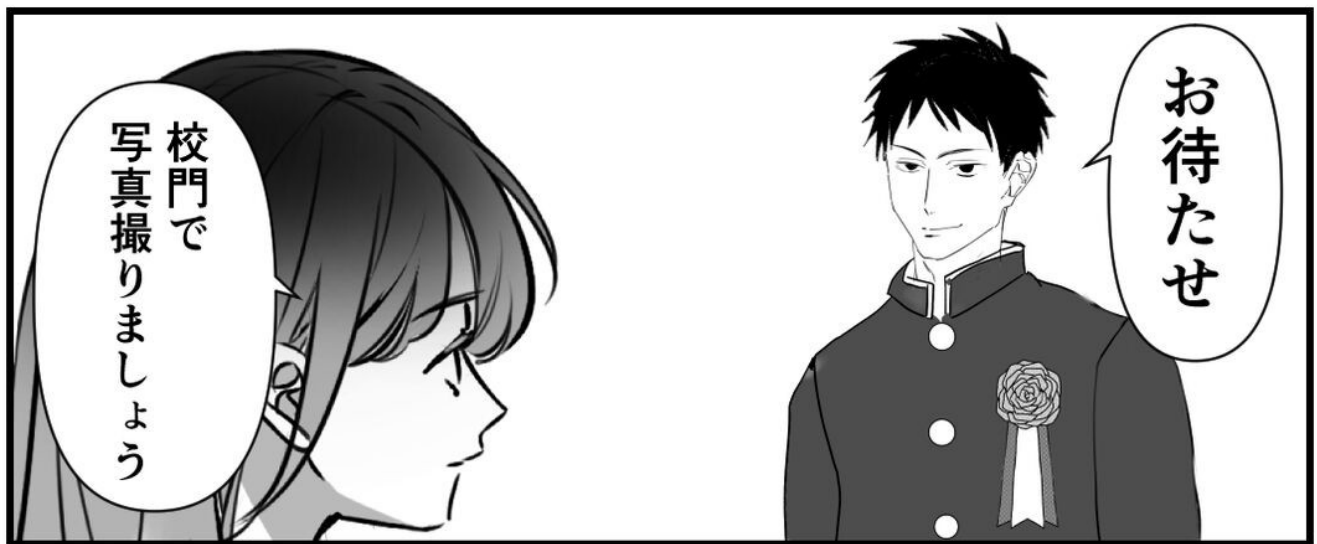
卒業祝いにはママです





あ！
こっちこっち



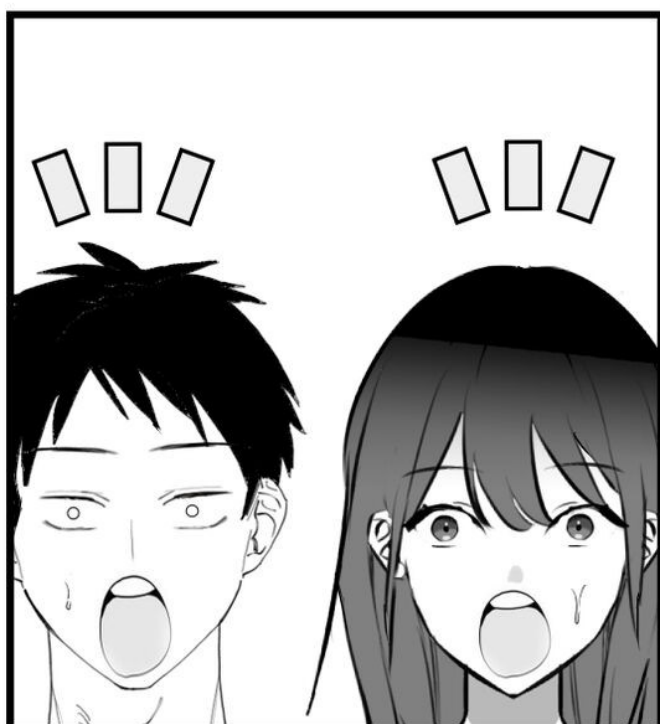




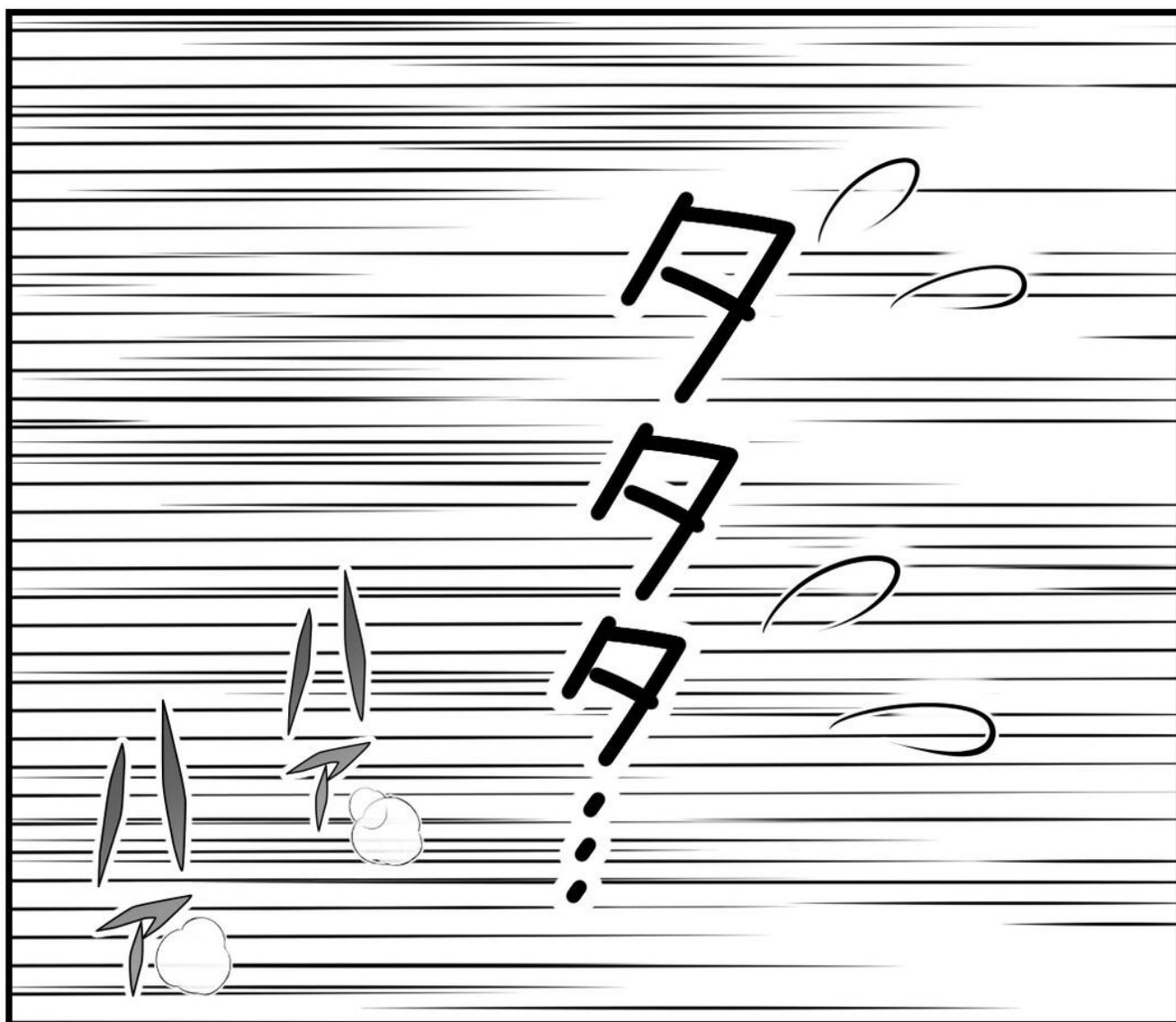
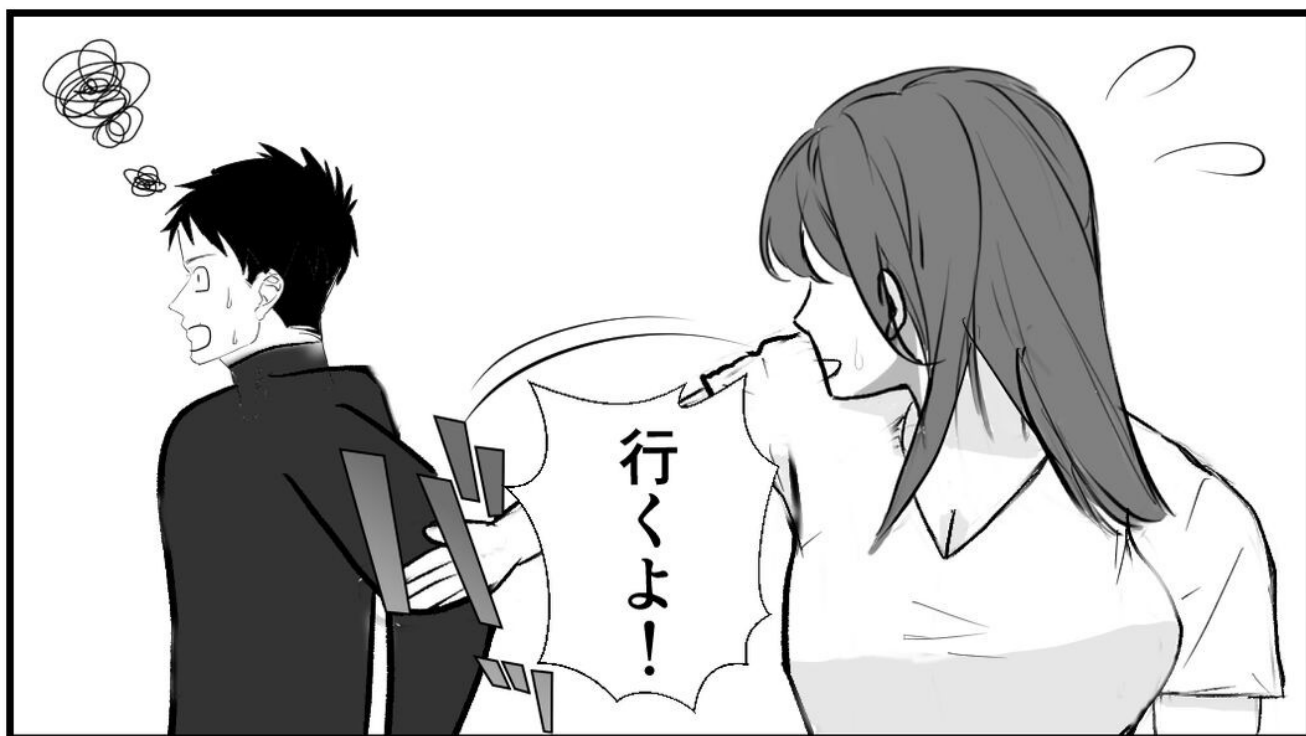
夕方

この校舎に
ゆー君の
3年間で詰まっ
て
いるんだね

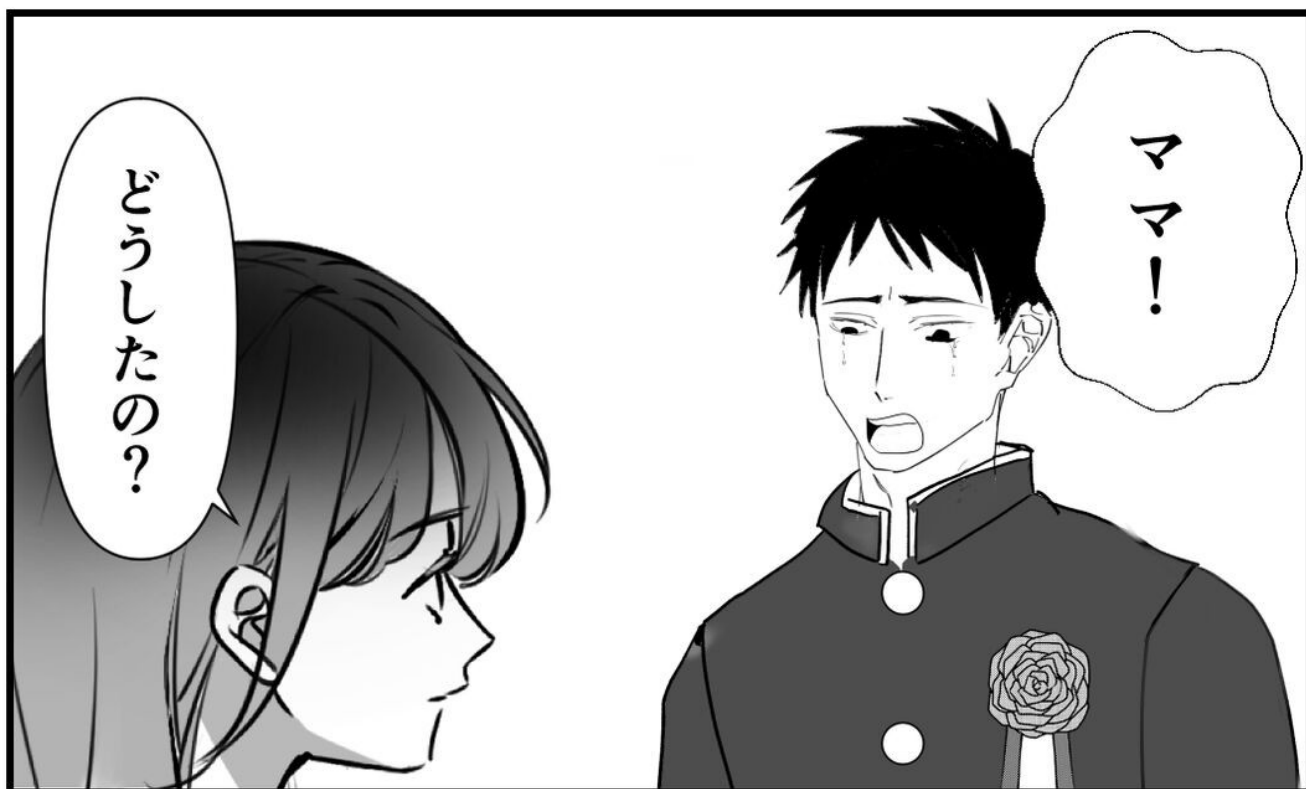
大袈裟だな
こっちが
俺の教室だよ















無理だよ…
話しても楽になんて
なんないよ

あらママを信じてないのね
いつだって家族で
乗り越えてきたじゃない

信じてるよ！
でも…こればかりは
ママでも無理じゃないかな？

ギンギン



失恋して悲しいのに
あれからずっと勃起してる
ボクおかしいのかな？

そ、そんなことないわ

ママは男のそういう
反応も理解してるわよ

そういう反応って？

えっあーいうエッチなのを
見ると頭で制御しようとしても
身体が反応してしまうことよ



ぎゃああああ

ボロン

ちよつと
何やってんの?!

ママ
慰めて!

デ、デカイ

ドーン!

どどどうしよう



ゆー君が私に欲情する
なんて…考えもしなかった

む〜っ

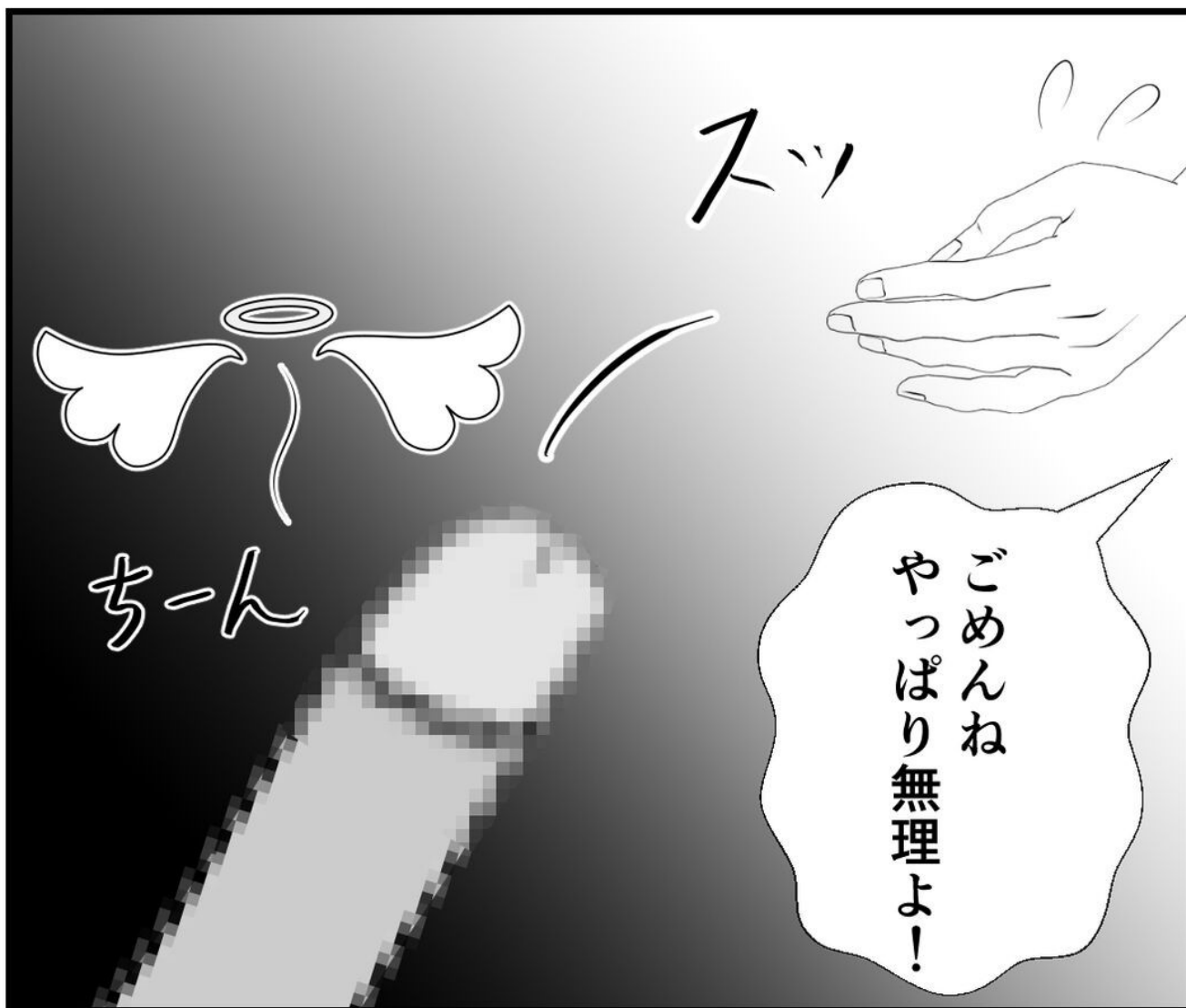
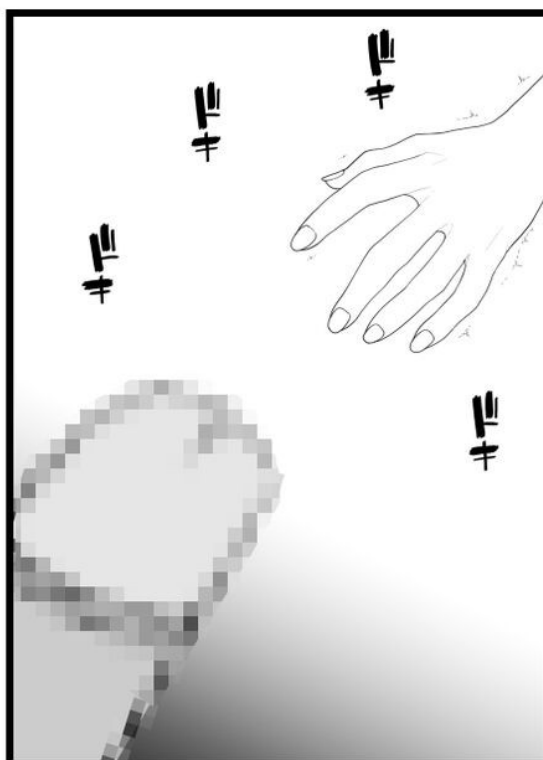


少しぐらい
なら…♡



ママお願い！







あーもういいや！
正直に言うよ！

ヒキ

ヒキ

ママを諦めるために
ママに似てるあの子を
好きになったんだよ！

えっ？

ヒキヒキ...♡

わかってるよ！
親子だから
ダメなんでしょ

それでも…それでも
ママが一番好きなんだよ！

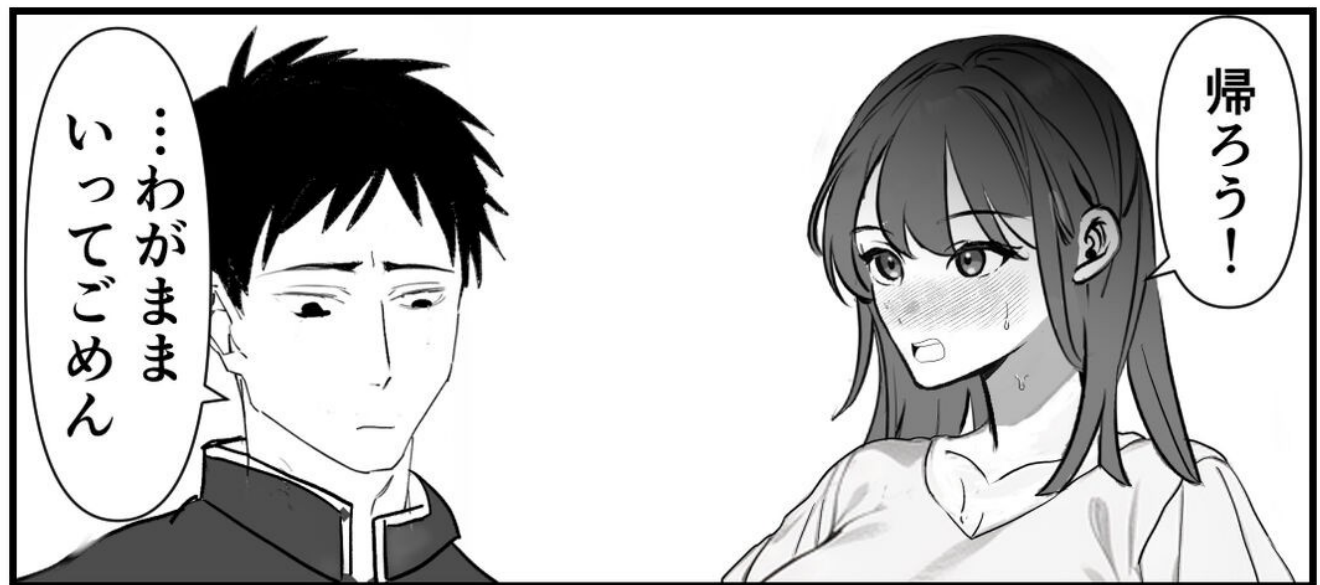
そうだったんだ…
私に似てるからかあ…

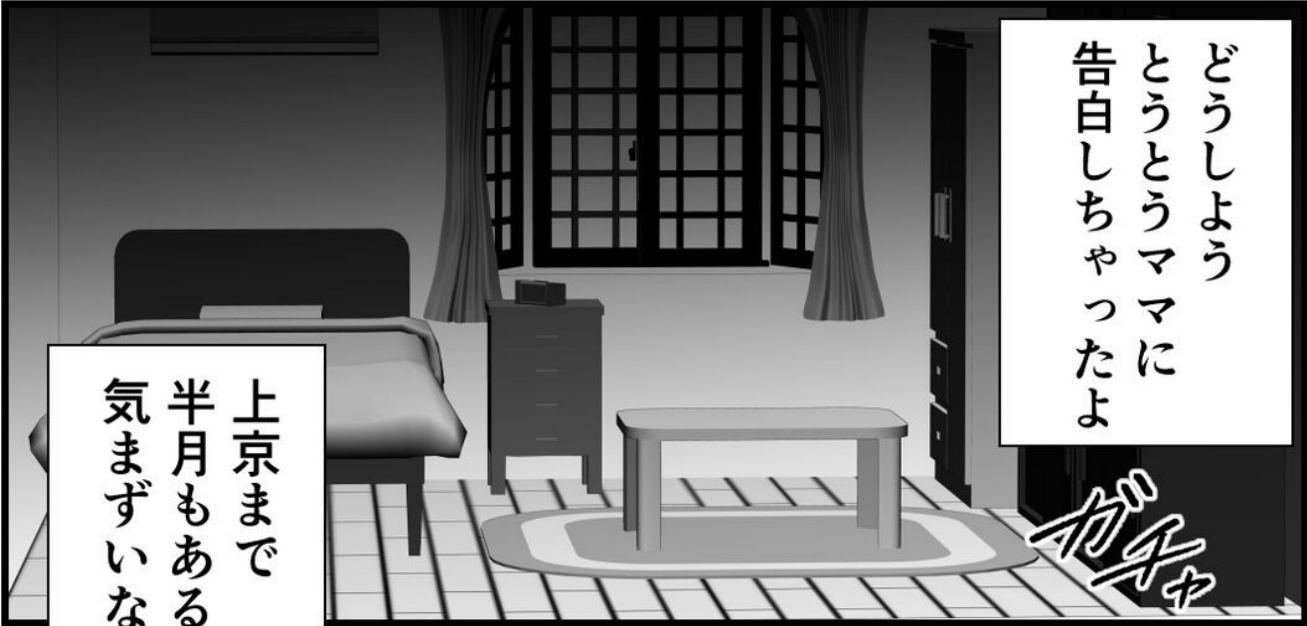
嬉しいけど…

コレを治めてよ！
初めては
大好きな人がいい！

だからお願い！







どうしよう
とうとうママに
告白しちゃったよ

ガチャ

上京まで
半月もあるのに
気まずいなあ



あゝムラムラして
寝れないよ



夜中に喉が渴いて
目が覚めた
1階の台所に向かう途中
物音が聞こえた。



リビングを覗くと
そこには寝ているはずの
ママがいた

ママ身体が熱くて
熱くて寝れないの♡

ドキッ♡

パパと何年エッチ
してないと思ってるの？

ドキ

ドキ

ゆー君のせいだと思う
あんな大きな男性器
見せつけるから♡

ドキッ♡



6年だよ…6年も
ママのままなの♡

ドキッ♡

ねえ♡
女に戻りたい夜があるって
言ったらおかしいかな？♡

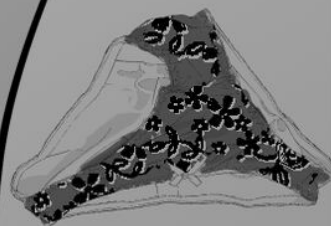
ドキッ♡

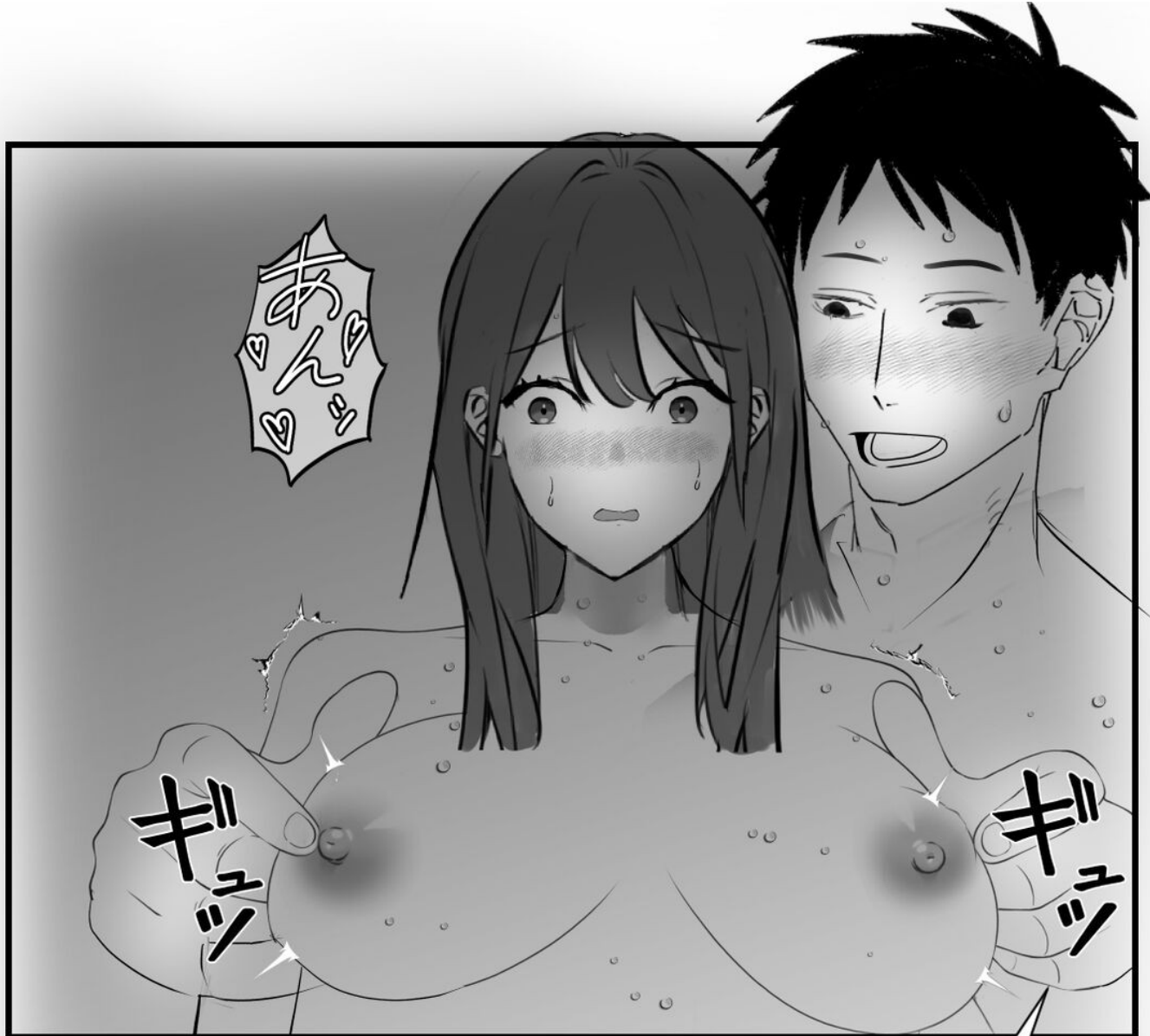
ドキッ♡

ドキ

ドキ

ドキ





ママは
何もおかしくないよ

ちんこを見て
欲情するのは
女として正常なんだよ！

ギンギン

はあ♡

♡...はあ♡

私ってまだ女に
戻れるんだね
良かった女で♡

♡...はあ♡

はあ♡

はあ♡



シクッ...♡

さあママを女に戻すよ！



シクッ...♡

できるの？
そんなこと
ゆー君に？

シキ

シキ

シキ

シキ



これを啜えてみる！
すぐに女を思い出すぞ！

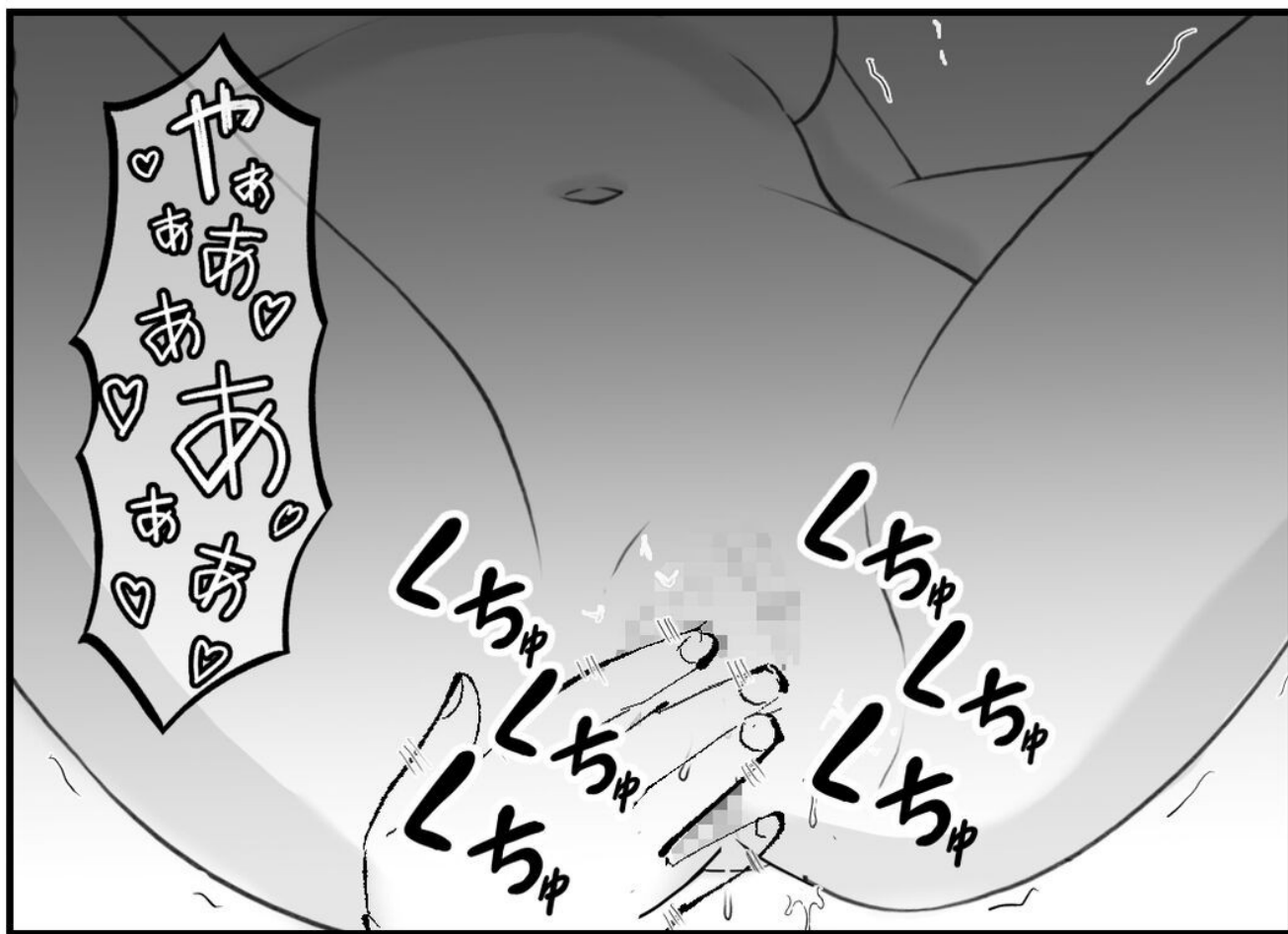
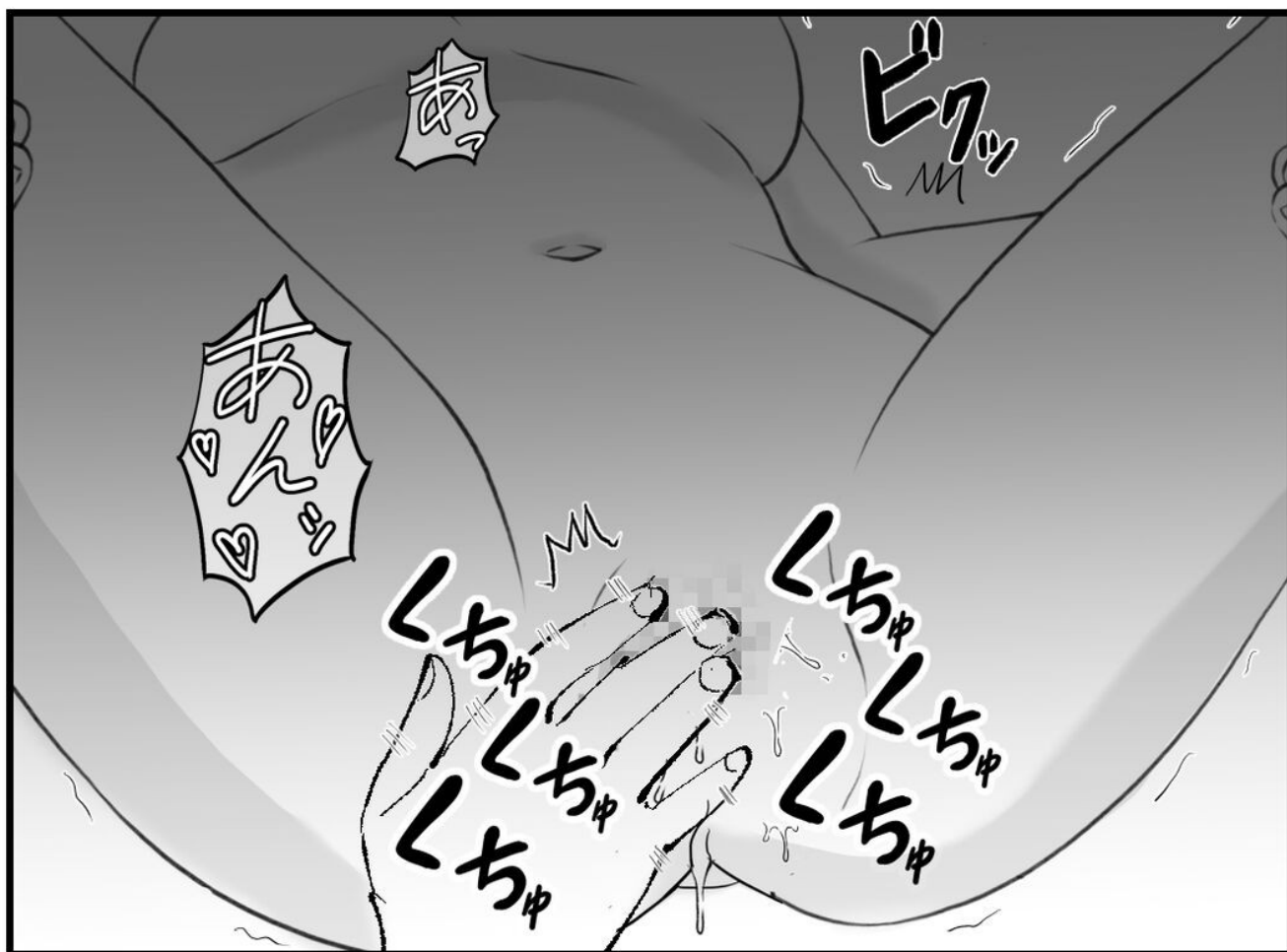
がぶっ

あうっ...♡♡♡

ビクッ











親子だからゴムは
要らないよね

どういう理屈よ！
ゴムは必要よ！
生は絶対ダメなのよ！

ズ
ヅ
ヅ

おん
ん
ん

ん
ん
ん

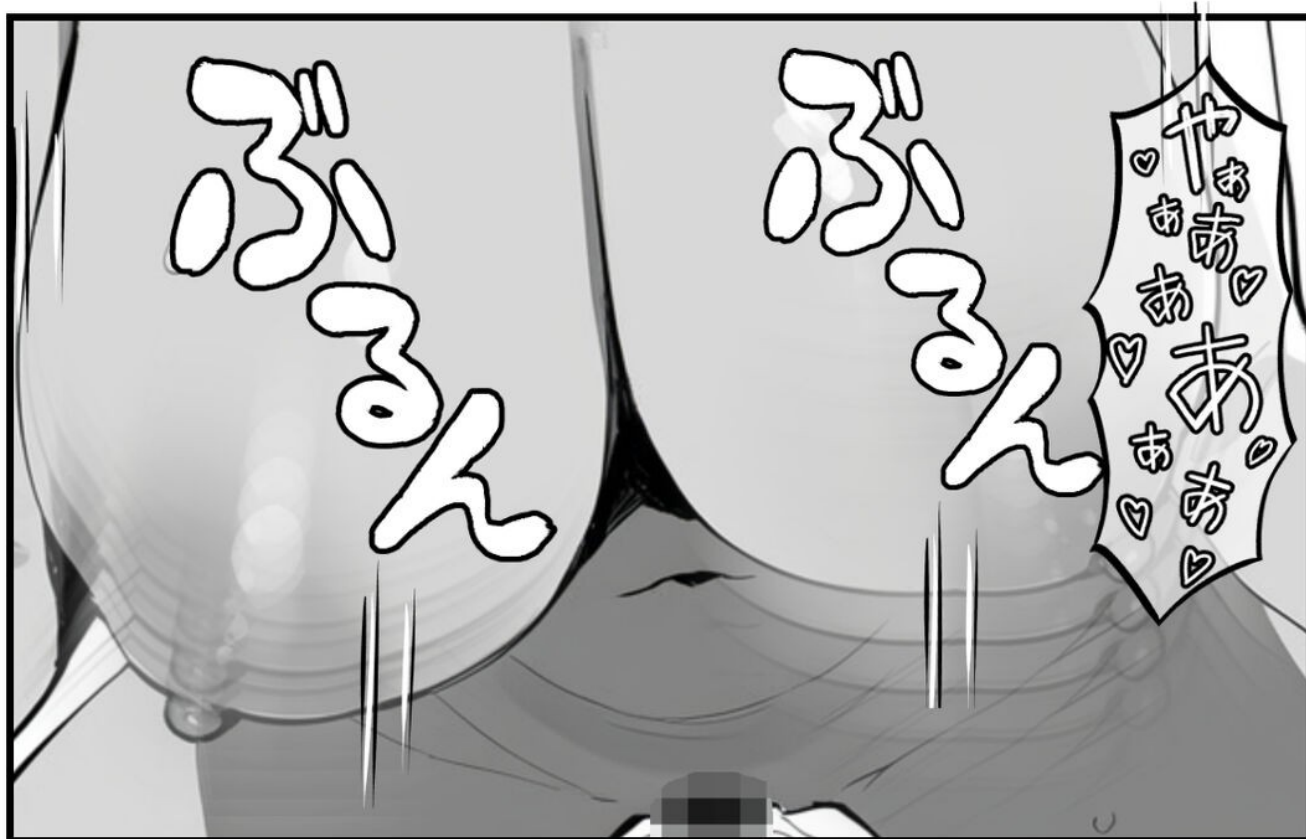
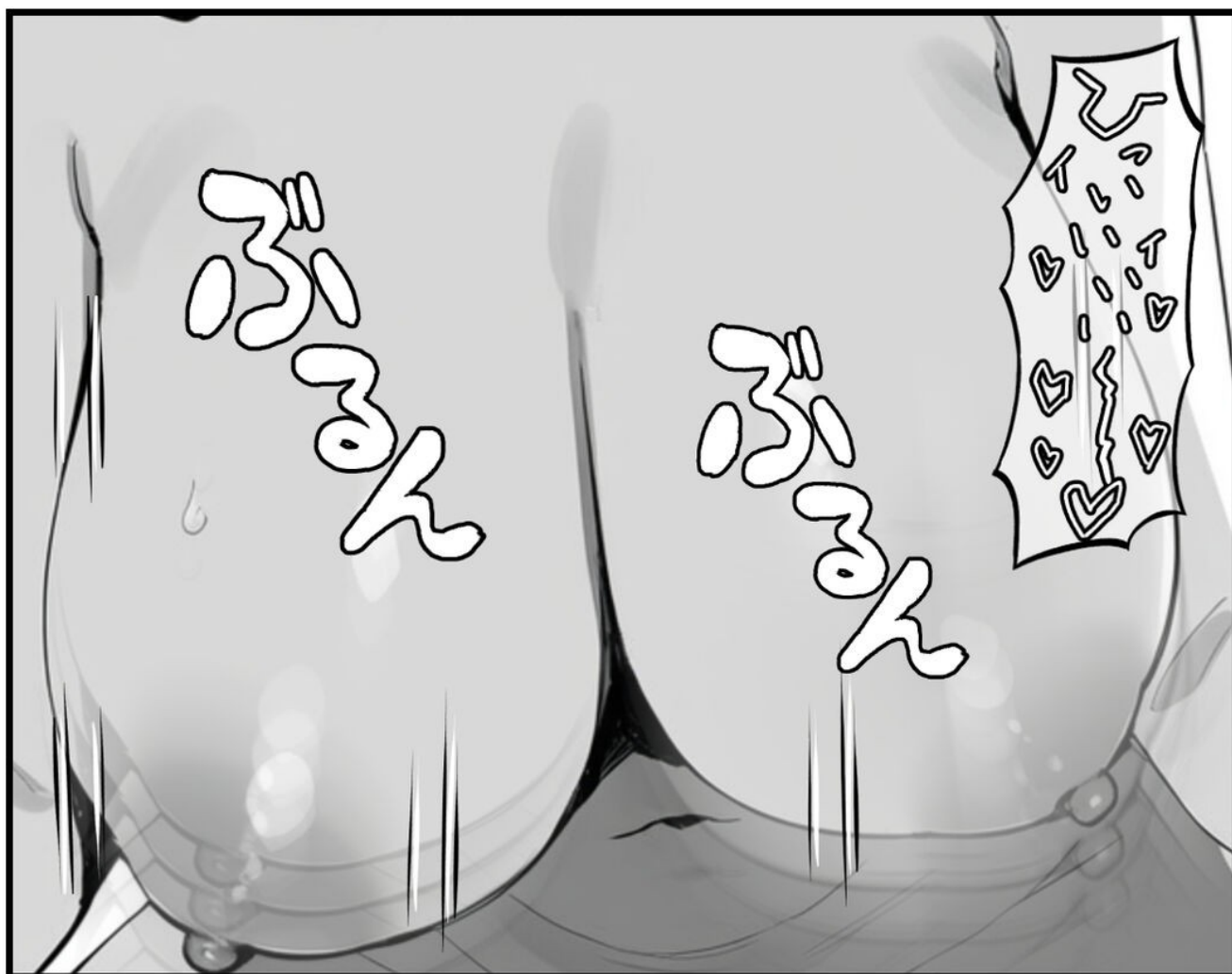




今度は
ママが上になるね♡

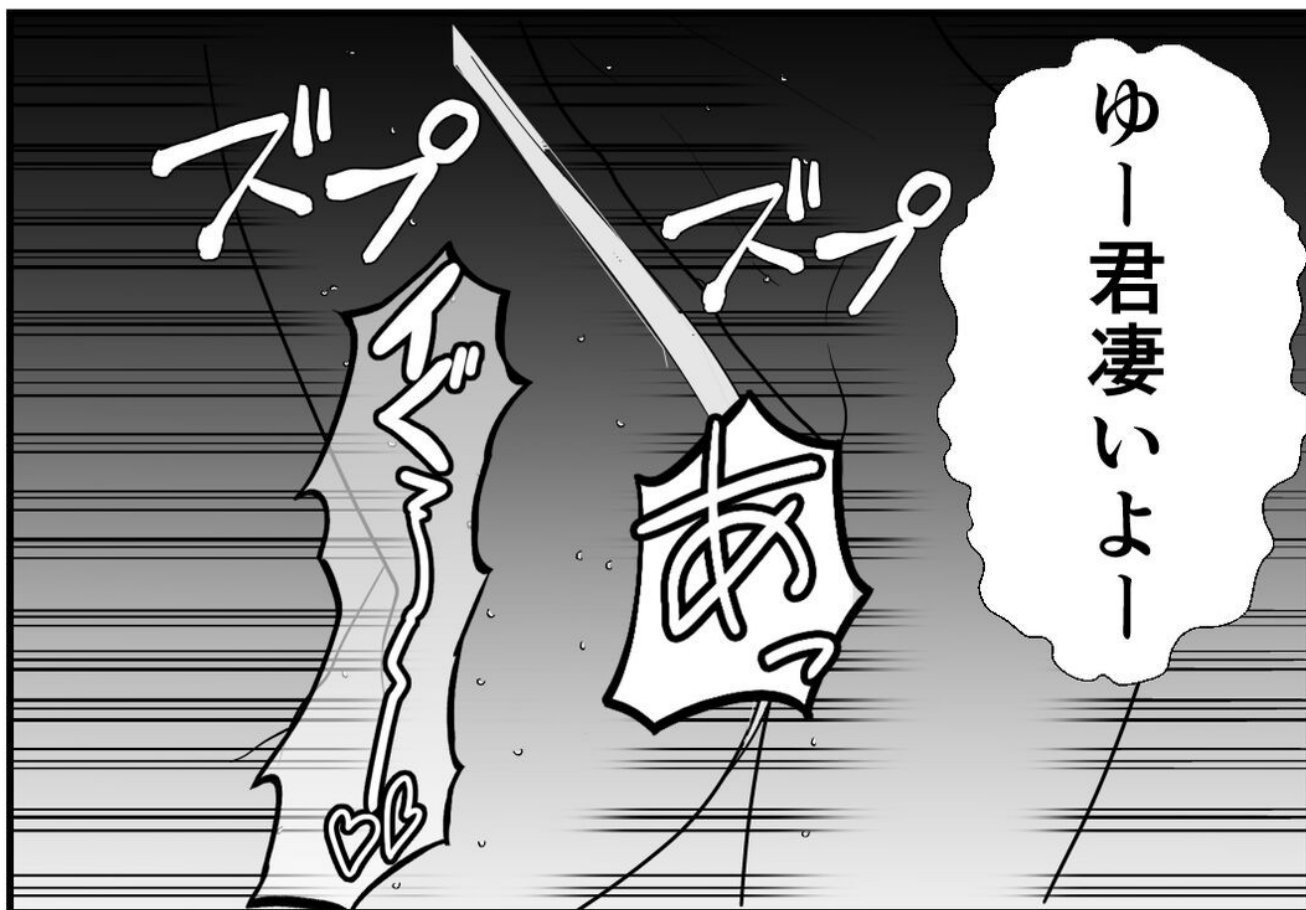








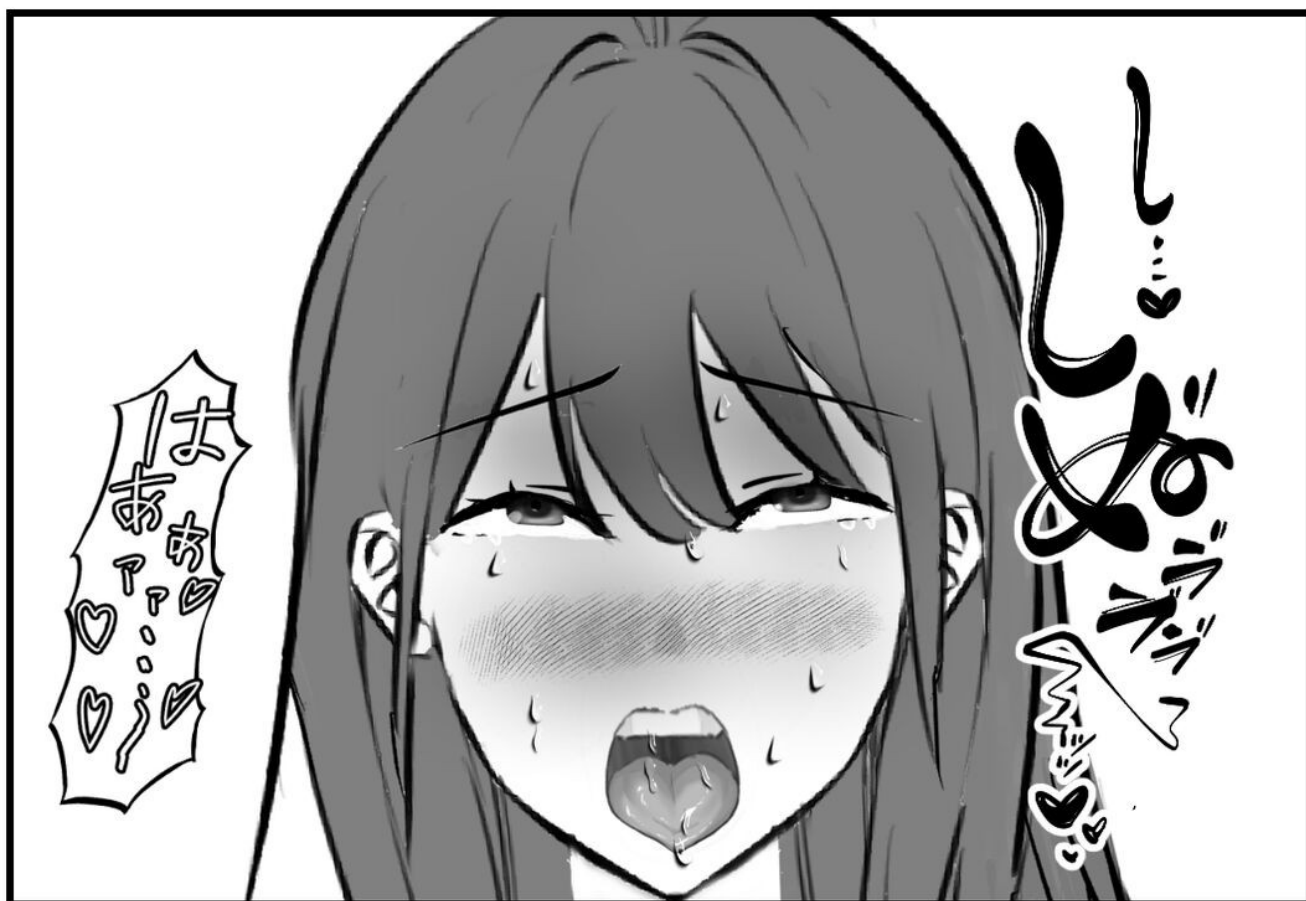








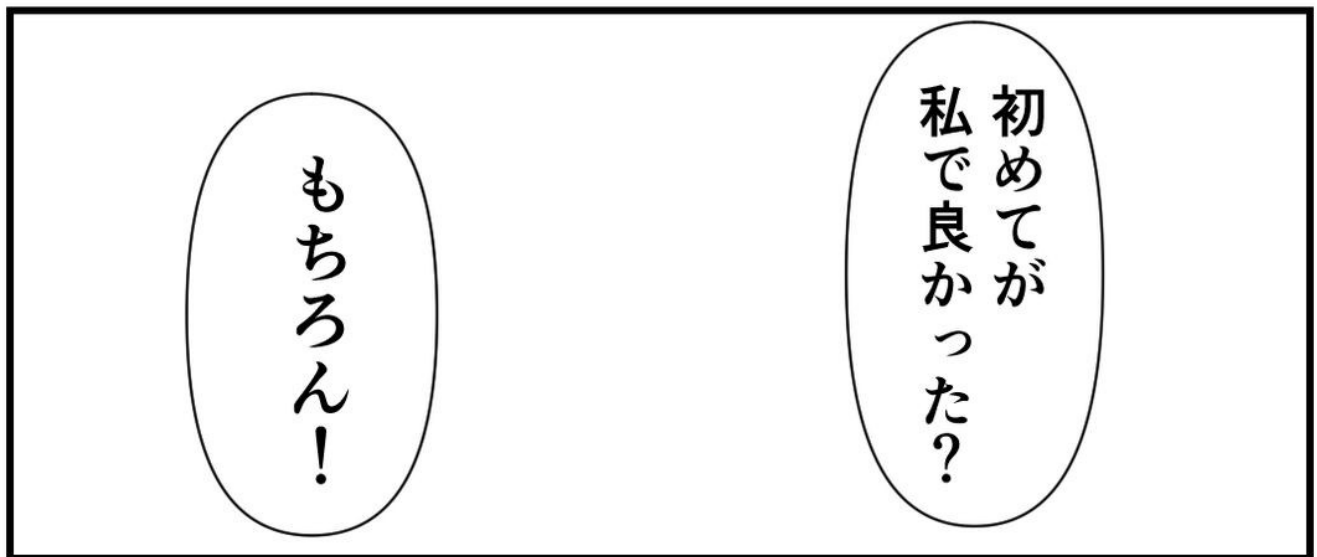
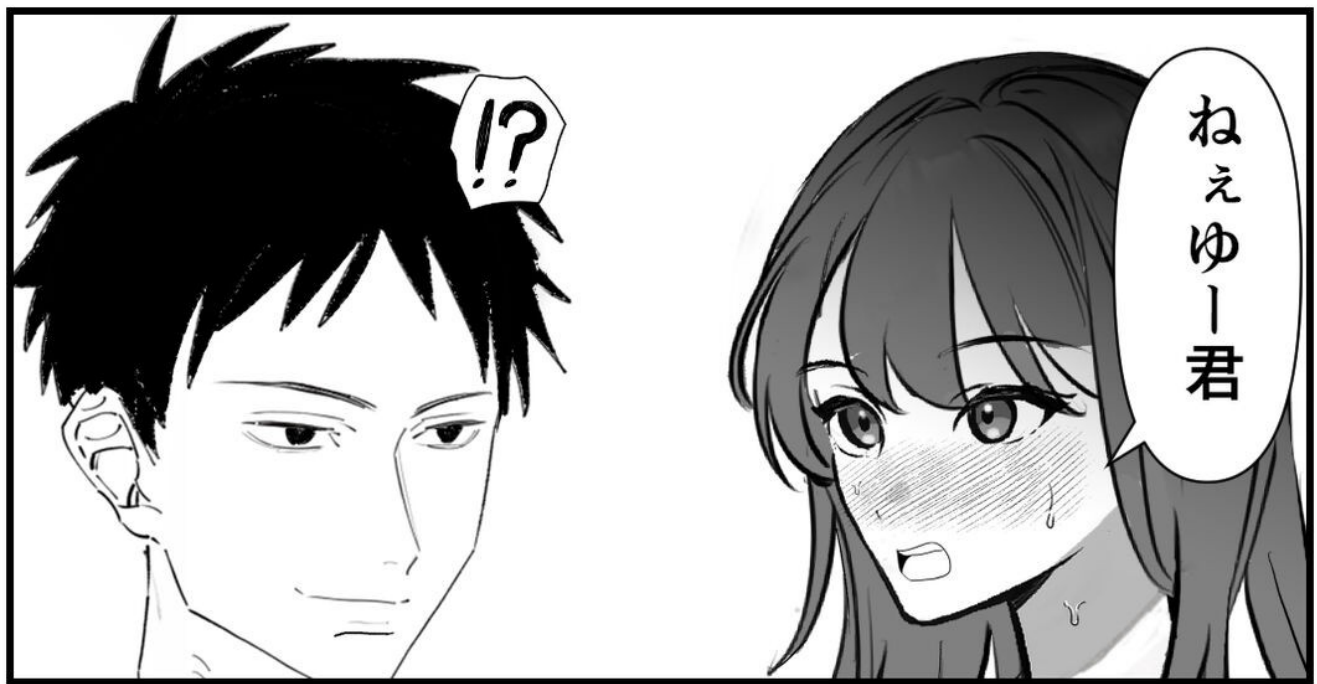




ママとエッチできたことで
失恋したショックは
すっかり消えていた…

上京する前に生まれ育った
家で初体験できたことが
妙な自信になった。
東京で新しい生活も上手く
できそうな気がする。
だってとても大切な思い出が
出来たから

ちなみに心の中で
単身赴任している
パパに謝った。



卒業おめでとう

かっこいい
大人になってね♡

